

平成 22 年 4 月 全国生コンクリート出荷実績

1. 概 況

(1) 当月の出荷実績は、次のとおりであった。

組合員出荷数量	5,713 千 m ³	[前年同月比 86.7%]	[構成比 88.7%]
非組合員出荷数量	726 千 m ³	[前年同月比 98.9%]	[構成比 11.3%]
総出荷数量	6,438 千 m ³	[前年同月比 87.9%]	
（官公需）	2,851 千 m ³	[前年同月比 89.9%]	[構成比 44.3%]
（民需）	3,587 千 m ³	[前年同月比 86.4%]	[構成比 55.7%]

(2) 当月は、前年同月比では、総出荷が平成 19 年 3 月以来 38 ヶ月連続のマイナス、官公需が平成 19 年 2 月以来 39 ヶ月連続のマイナス、民需が平成 19 年 5 月以来 36 ヶ月連続のマイナスとなった。なお、標準稼働日数(平日)は、前年同月と同じだった。地区別では、プラスの地区はなく、10%以上の落ち込みが 6 地区あり、うち 20%以上の落ち込みが 1 地区あった。

今後 2~3 ヶ月先の都道府県別需要動向については、前年実績より増加するが 1 (前月比+1)、前年実績並みが 3 (前月比±0)、前年実績より減少するが 43 (前月比-1) と予想している。

2. 都道府県別の状況

(1) 都道府県別の状況については、前年実績を上回ったところが 9 府県、下回ったところが 38 都道府県であった。

(2) 前年実績を 10%以上上回ったところは 5 府県であった。その状況は次のとおりである。

【鳥取】 48 千 m³ [前年同月比 131.4% (官公需 141.5%、民需 106.1%)] 砂防堰堤、鳥取西道路本高橋下部、野坂川橋下部、有富川下部、しち山バイパス、国道 313 号橋梁下部、名和淀江道路、漁礁用ブロック製作 (船磯漁港) 等の関連工事があった。

【山梨】65 千 m^3 [前年同月比 124.7% (官公需 137.1%、民需 107.5%)] リニアモーターカー、中部横断道等の関連工事があった。

【京都】83 千 m^3 [前年同月比 113.2% (官公需 143.2%、民需 87.8%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【山形】51 千 m^3 [前年同月比 111.4% (官公需 131.6%、民需 99.1%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【山口】110 千 m^3 [前年同月比 110.1% (官公需 135.7%、民需 83.9%)] 災害復旧、岩国基地、病院等の関連工事があった。

(3) 前年実績を 10%以上下回ったところは 21 都道府県であった。その状況は次のとおりである。

【福井】69 千 m^3 [前年同月比 89.9% (官公需 92.4%、民需 82.2%)] 特に目立った物件はなかった。

【徳島】59 千 m^3 [前年同月比 88.8% (官公需 88.3%、民需 92.4%)] 特に目立った物件はなかった。

【岡山】74 千 m^3 [前年同月比 88.3% (官公需 94.5%、民需 79.9%)] 特に目立った物件はなかった。

【佐賀】46 千 m^3 [前年同月比 87.4% (官公需 109.2%、民需 63.4%)] 特に目立った物件はなかった。

【熊本】99 千 m^3 [前年同月比 86.4% (官公需 68.1%、民需 114.5%)] 西廻り自動車道、駅前再開発等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【東京】733 千 m^3 [前年同月比 85.6% (官公需 84.1%、民需 86.0%)] 特に目立った物件はなかった。

【大阪兵庫】637 千 m^3 [前年同月比 85.5% (官公需 75.2%、民需 90.5%)] 千種川災害復旧、河川、道路整備、尼崎新高校、尼崎西高校、大和川ポンプ場、南千里丘計画、有料老人ホーム新築、工場整備改修等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【愛媛】98 千 m^3 [前年同月比 85.2% (官公需 77.2%、民需 92.8%)] 特に目立った物件はなかった。

【福島】89 千 m^3 [前年同月比 84.9% (官公需 85.7%、民需 84.5%)] 羽鳥ダム取水トンネル建設、広野火力発電増設、タンガロイ工場新設、三和化学第三工場建設等の関連工事の

ほか、特に目立った物件はなかった。

【宮城】 90 千³m [前年同月比 84.2% (官公需 103.7%、民需 72.8%)] 特に目立った物件はなかった。

【福岡】 239 千³m [前年同月比 84.0% (官公需 103.5%、民需 75.1%)] 特に目立った物件はなかった。

【広島】 163 千³m [前年同月比 83.8% (官公需 84.6%、民需 83.1%)] 高速道耐震、河川改修等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【長野】 108 千³m [前年同月比 82.7% (官公需 90.8%、民需 75.3%)] 特に目立った物件はなかった。

【北海道】 148 千³m [前年同月比 82.2% (官公需 78.7%、民需 85.2%)] 特に目立った物件はなかった。

【埼玉】 252 千³m [前年同月比 81.7% (官公需 79.2%、民需 84.1%)] 特に目立った物件はなかった。

【栃木】 110 千³m [前年同月比 80.9% (官公需 62.5%、民需 98.0%)] 県道、市営住宅、北関東道、道路、高層住宅、駅西ホテル、商業施設、倉庫、老人ホーム、湯西川ダム、南摩ダム、宇都宮科学技術高校、足利日赤病院、ヨックモック食品工場等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【群馬】 86 千³m [前年同月比 79.9% (官公需 74.6%、民需 86.5%)] 砂防ダム等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【愛知】 340 千³m [前年同月比 76.2% (官公需 77.0%、民需 75.7%)] 特に目立った物件はなかった。

【静岡】 252 千³m [前年同月比 74.3% (官公需 79.8%、民需 69.5%)] 特に目立った物件はなかった。

【千葉】 210 千³m [前年同月比 72.3% (官公需 79.1%、民需 68.1%)] 特に目立った物件はなかった。

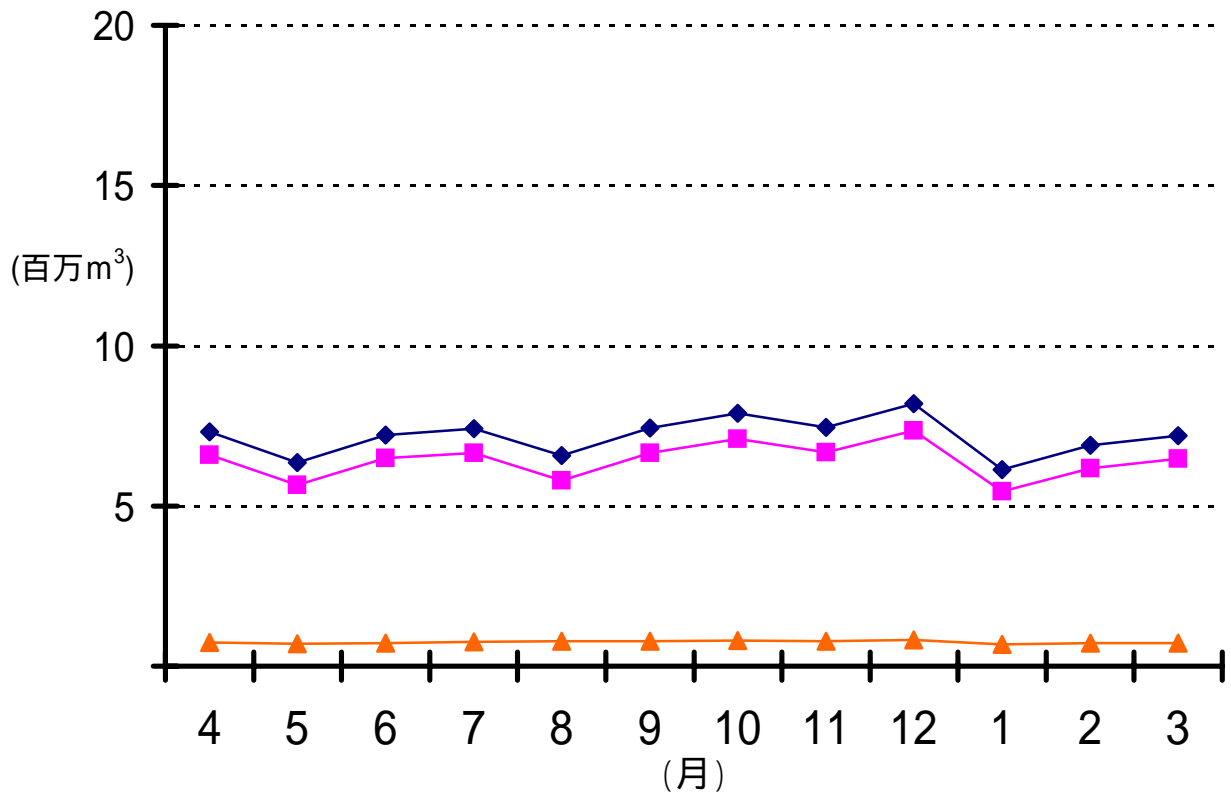
3. 今後の需要動向についての見通し

各都道府県の現状から、今後2～3ヶ月先の需要動向についての各工業組合の見通し（前年実績との比較）は次のとおりである。

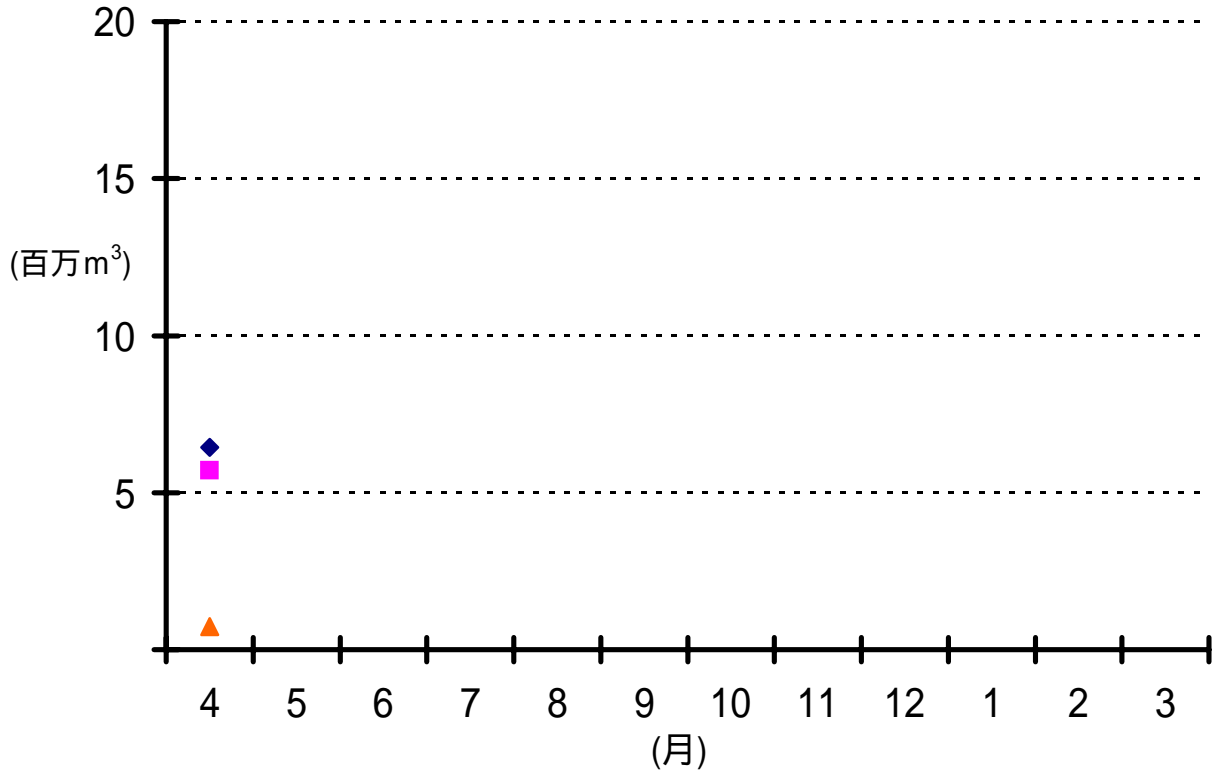
	件数	都道府県	前月 件数
増 加	0		0
やや増加	1	京都	0
前年並み	3	岩手、富山、山口	3
やや減少	13	山形、福島、栃木、山梨、石川、奈良、大阪、兵庫、和歌山、鳥取、愛媛、大分、沖縄	13
減 少	30	北海道、青森、秋田、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、茨城、群馬、長野、新潟、福井、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、岡山、広島、島根、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島	31

全国出荷実績の推移

平成21年度4～3月



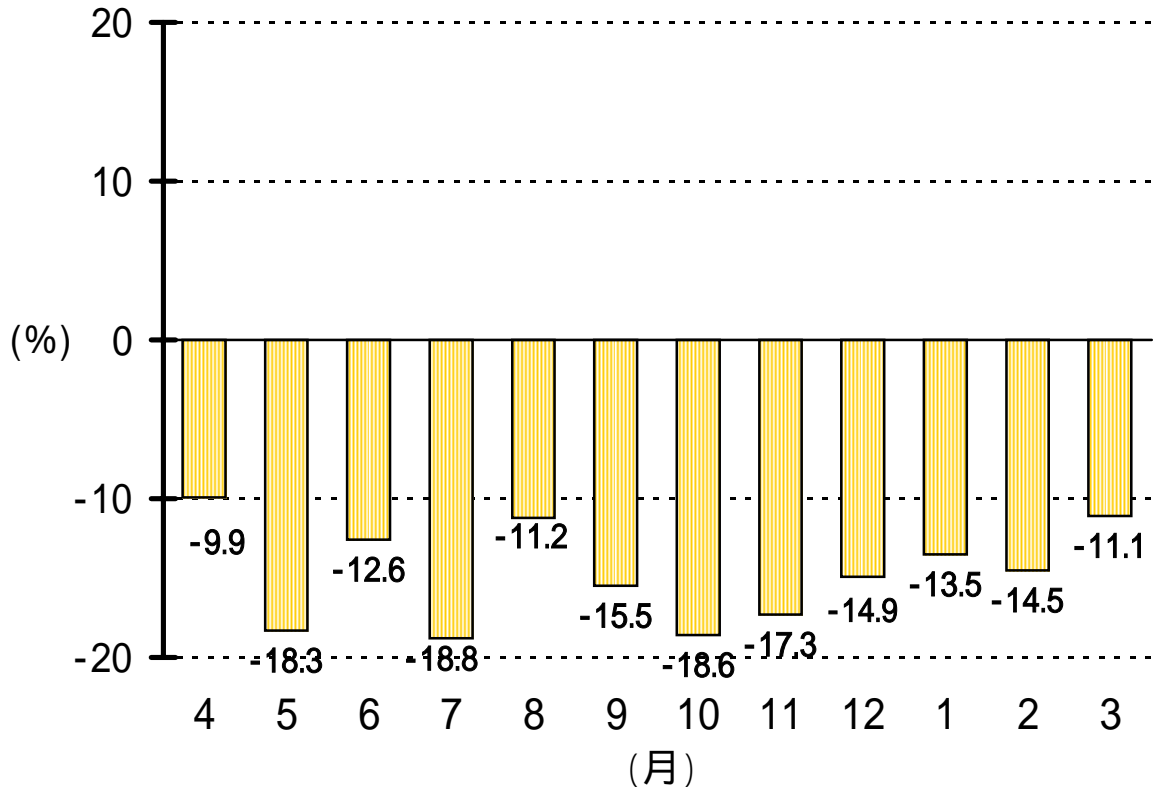
平成22年度4～3月



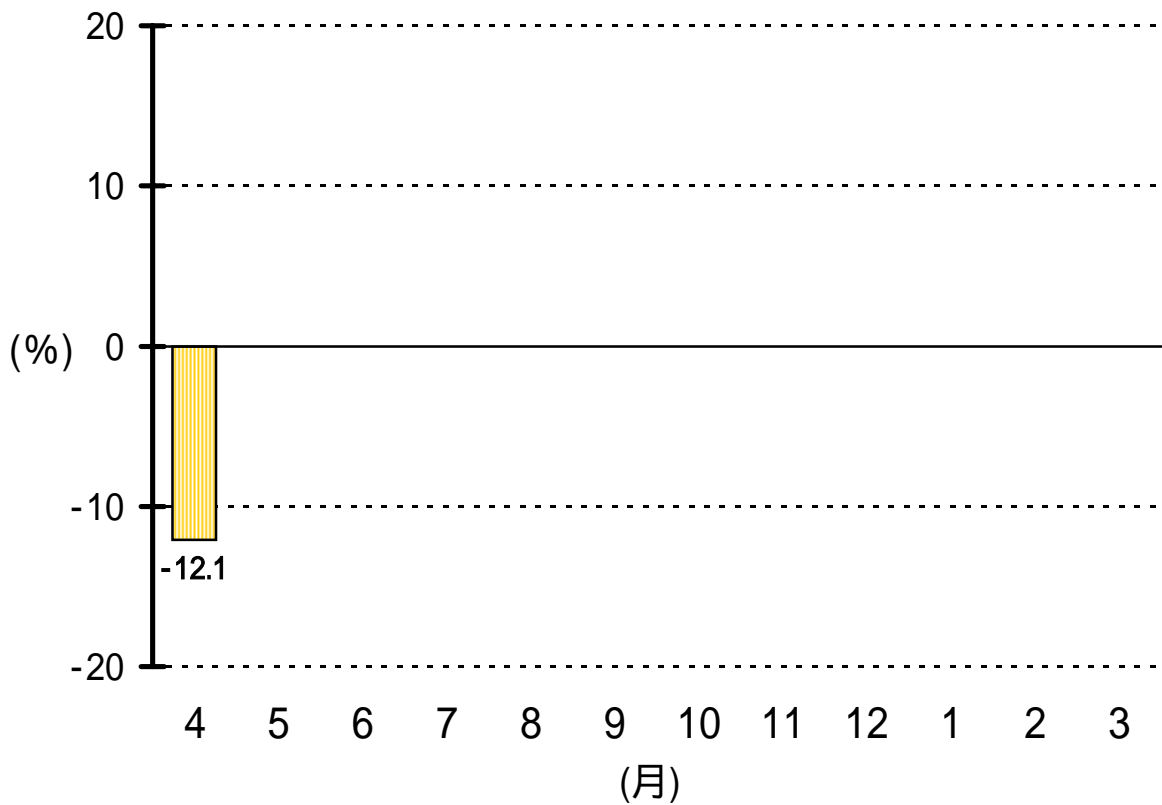
◆ 総出荷数量 ■ 組合員 ▲ 非組合員

全国出荷実績の対前年比の推移

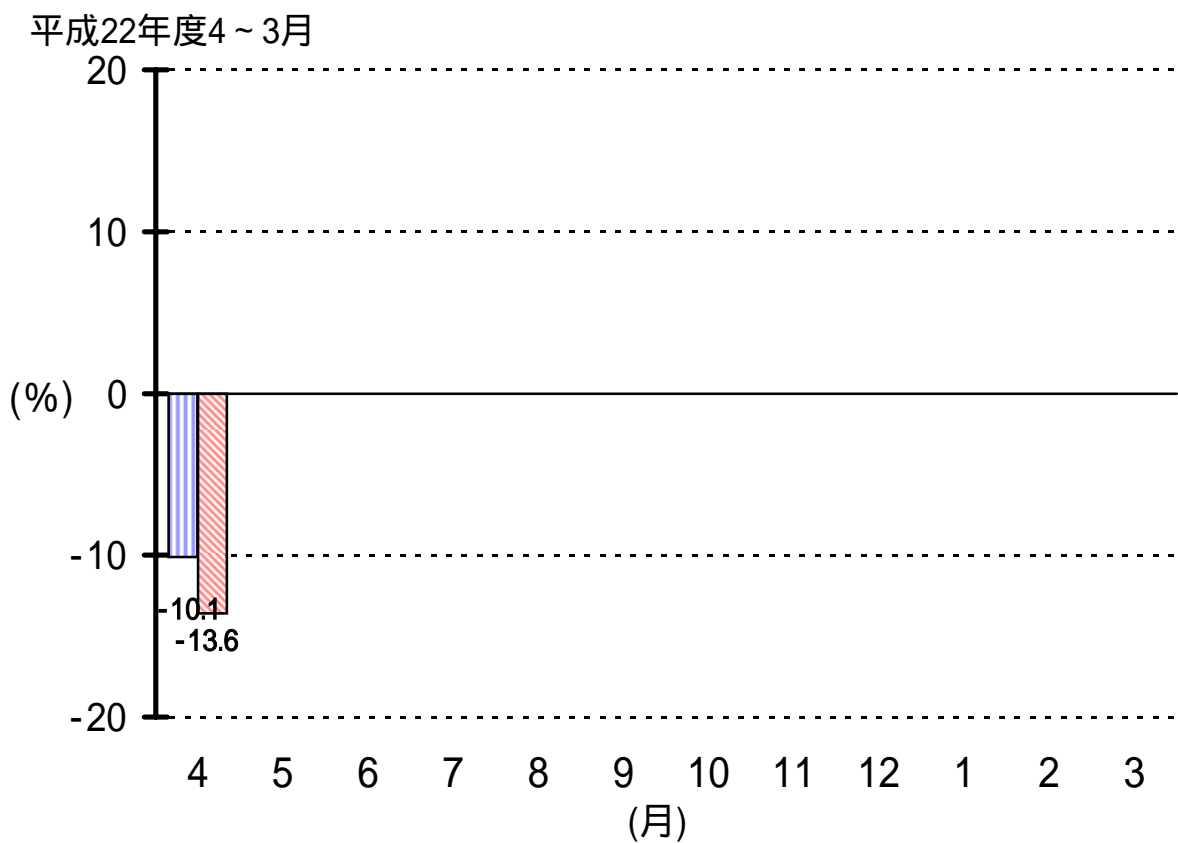
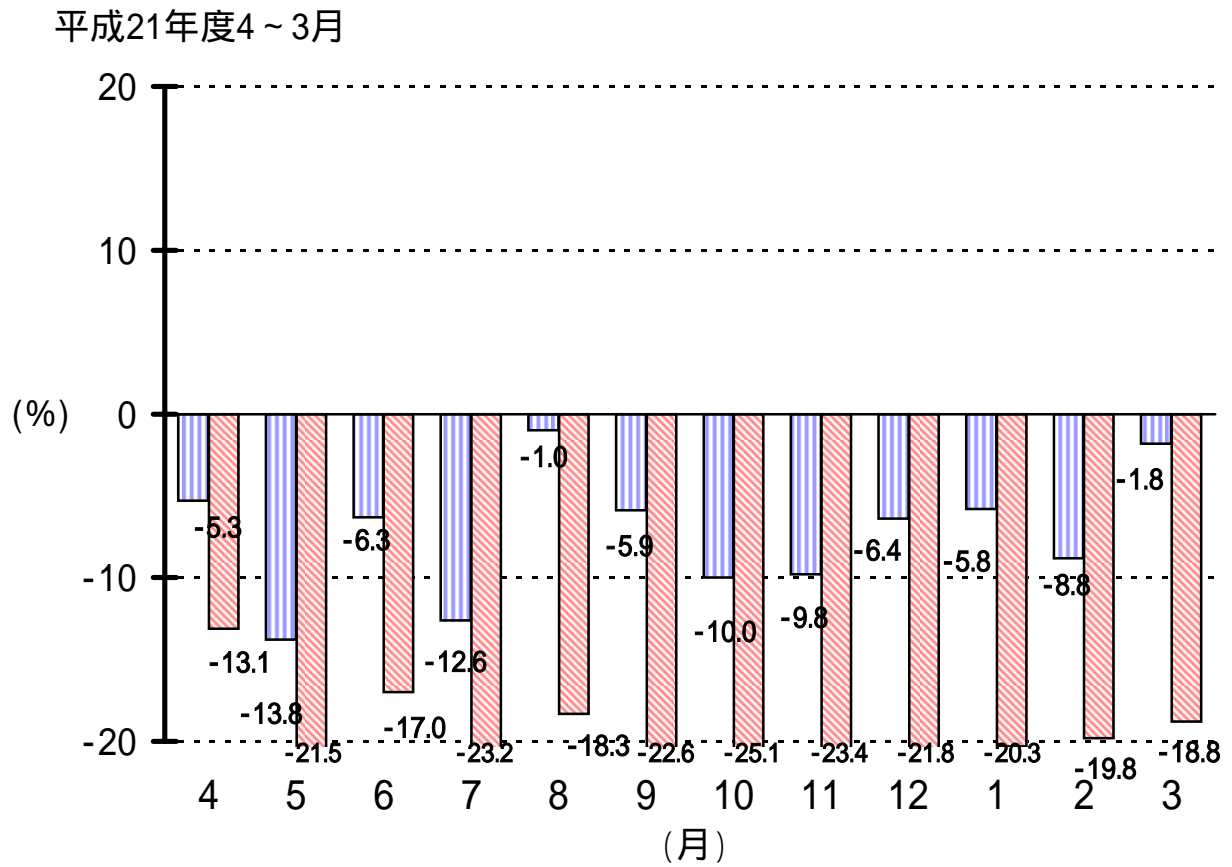
平成21年度4～3月



平成22年度4～3月



官公需 民需別 対前年比の推移



官公需 民需

地区本部別出荷実績と対前年比

〔全国総出荷数量〕

平成19年度4月	9,078千m ³	(対前年比 98.6%)
平成20年度4月	8,123千m ³	(対前年比 89.5%)
平成21年度4月	7,321千m ³	(対前年比 90.1%)
平成22年度4月	6,438千m ³	(対前年比 87.9%)

